

授業科目 スポーツ・実践（バスケットボール）

【担当教員名】 高沢 文隆	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報	
	開講時期	前期・後期	必修選択	選択	
	単位数	1	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○		○	◎	○	
【概要・一般目標：GI0】					
<p>1. スポーツ・健康の経験をもとに、生涯スポーツに向け自ら選択したスポーツに主体的に取り組む。</p> <p>2. 医療・福祉・保健のQOLサポーターとしての資質向上を目指し、スポーツ実践を通してスポーツとのかかわり方や仲間との交流を図る。</p>					
【学習目標・行動目標：SB0】					
<p>1. 医療・福祉・健康のプロフェッショナルとして、自らのスポーツの必要性について理解する。</p> <p>2. バスケットボールの特性について学ぶ。</p> <p>3. バスケットボールのルールを理解し学ぶ。</p> <p>4. ゲームを通して競技能力を高める。</p>					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション（グルーピング、授業の進め方）			1	講義、実技
2	基礎技術（ボールハンドリング）、ゲーム			2.3	実技
3	基礎技術（シュート）、ゲーム			2.3	実技
4	基礎技術（ドリブル）、ゲーム			2.3	実技
5	基礎技術（パス）、ゲーム			2.3	実技
6	応用技術（ドリブル、パス）、ゲーム			2.3	実技
7	リーグ戦			4	実技
8	リーグ戦			4	実技
9	リーグ戦			4	実技
10	リーグ戦			4	実技
11	リーグ戦			4	実技
12	リーグ戦			4	実技
13	リーグ戦			4	実技
14	リーグ戦			4	実技
15	リーグ戦、授業のまとめ			1.4	講義、実技
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況 授業態度			【履修上の留意点】 開講人数 前後期それぞれ15～40名 前後期の振り分けは抽選する（指定不可）		